

竹原市決算特別委員会

令和3年9月21日開議

審査項目

○集中審査

【総務企画部・農業委員会・会計課・選挙管理委員会・監査委員及び公平委員会関係の一般会計・特別会計】

(令和3年9月21日)

出席委員

氏 名	出 欠
山 元 経 穂	出 席
堀 越 賢 二	出 席
松 本 進	出 席
宇 野 武 則	出 席
吉 田 基	出 席
宮 原 忠 行	出 席
道 法 知 江	出 席
井 上 美 津 子	出 席
川 本 円	出 席
高 重 洋 介	出 席
竹 橋 和 彦	出 席
今 田 佳 男	出 席
下 垣 内 和 春	出 席

委員外議員出席者

氏 名
大 川 弘 雄

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議会事務局長 笹原章弘

議会事務局係長 矢口尚士

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
総務企画部長	平田康宏
総務課長	岡元紀行
総務課資産活用担当課長	井上顕良
企画政策課長	三上満里子
財政課長	向井直毅
危機管理課長	堀信正純
産業振興課長	國川昭治
会計課長	宮地康子
選挙管理委員会事務局長	向井聡司
監査委員事務局長	向井聡司

午前9時54分 開議

委員長（山元経穂君） おはようございます。

ただいまの出席委員は13名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから第2回決算特別委員会を開催いたします。

委員会をスムーズに行えますよう、委員の皆さんの御協力をお願いいたします。

審査の方法については、第1回の委員会で確認したように、ページを追って費目ごとに進めていきたいと思っております。

本委員会は、各会計の令和2年度予算が適正に執行されたかどうかを具体的に審査するものであります。したがって、質疑については令和2年度予算の執行を中心に、収支は適法であるかどうか、予算が所期の効果を上げたかどうか、将来の財政運営に反映させる事項はないかといった視点でもって、要点をまとめて一問一答で質疑していただくようお願いいたします。

また、説明員の方に申し上げます。

答弁は、質疑に対して的確にされるようお願いいたします。

なお、発言の際は職名をはっきり述べ、挙手をして発言を求め、マイクを利用して行うよう願います。また、質疑、答弁は着席されたままで行ってください。

人件費全般につきましては、総務企画部の審査の中でお願いいたします。

それでは、レジュメに沿って始めていきたいと思っております。

まずは、歳入全般の52ページからで、市税のほうは除きますので54ページまでは飛ばしていただいて、54ページの前段3分の1、地方譲与税について質疑がある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、54ページ、利子割交付金について質疑がある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、配当割交付金について質疑がある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、株式等譲渡所得割交付金について質疑がある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、56ページ、法人事業税交付金について質疑がある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、地方消費税交付金について質疑のある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、ゴルフ場利用税交付金について質疑のある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、環境性能割交付金について質疑のある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、地方特例交付金について質疑のある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、11番、地方交付税について質疑のある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、交通安全対策特別交付金について質疑のある方、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、58ページ、分担金及び負担金について質疑のある方、お願いいたします。

委員（松本 進君） 分担金と負担金。

委員長（山元経穂君） 分担金及び負担金、58ページ。

松本委員。

委員（松本 進君） 59ページの児童福祉費負担金ということになって、131万7,200円という滞納のことでお尋ねしたいと思っておりますけれども、この滞納というのは全てが保育所費の滞納なのかどうかをまず確認しておきたいと思っております。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） こちらの収入未済額の御質問でございます。

こちらは、保育所負担金と放課後児童クラブの負担金、あわせて保育所の副食費の負担金も一部含まれております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 保育所費の滞納のことでお尋ねしたいのですが、資料の分で10ページに出させていただいておりますけれども、ここでは保育料が9人の滞納ということでいろいろ所得の状況も書いてありますけれども、特にお尋ねしたいのは、特にこの決算年度がコロナ禍といたしますか、そういった厳しい状況があつていろんな支援措置とかというのが、国とかいろんな支援措置がありましたけれども、こういった保育料についても、特に弱者といたしますか、そういう弱い立場の方々の支援というのが必要ではないかなということで、そういった支援をした後でこういった滞納が発生しているのか、そういった滞納なんかについてをお聞きしたいと。

委員長（山元経穂君） 答えますか、財政課長。

財政課長（向井直毅君） 一般論でよろしければ。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） 保育所の負担金でございます。

こちらコロナの対策というのは、特に低所得者に対する支援というものは、臨時交付金を頂く中で種々させていただいております。そういった中で、今回の令和2年度の決算における滞納でございますが、こちら現年度分の滞納者というのは1名ということで、そういった部分で新たな滞納というものは、特に保育所の負担金につきましては、3歳児以上の児童につきましてはもう現在無償化になっておりますので、保育料が発生するというものは0歳児から2歳児までということもあつて、新たなこういった保育所の負担金というのはほぼ発生していないというふうに御理解をいただければと思います。

委員（松本 進君） 分かりました。

委員長（山元経穂君） その他、負担金、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 60ページ、使用料及び手数料について質疑のある方、お願いいたします。ありませんか。

費目で追います。65ページまで。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 使用料でいいですか。

委員長（山元経穂君） 何ページですか。

委員（下垣内和春君） 61ページの一番下から63ページの上のほうなのですが。

委員長（山元経穂君） 大丈夫です。

委員（下垣内和春君） 63ページなのですが、住宅使用料でございますが、予算額では5,758万円に対して決算額が5,200万円ということで、500万円以上の差があると。収入未済額も、令和元年に比べれば2年度は増加している。この実績をどのように考えておられるかお伺いたします。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） こちらは、住宅使用料の滞納でございます。

確かに、収納率とか未済額につきましては、昨年と比べて若干増えているというような状況でございます。こちらは家賃に相当するものでございますので、当然そちらはしっかり納めていただくというのが原則であろうかと思っております。これも担当部署のほうでしっかりそこは徴収に努めていただいていると思っておりますけれども、今後も引き続きそういったものはしっかり対応していくべきものというふうに考えております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 受益者の公平性というのがどうしてもありますので期限内納付を適正にやっていただきたいと思っておりますし、滞納者に対しては、個々にはいろいろな実情がございますので、その辺は踏まえて確実な徴収に今後も努めていただきたいと思っております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 65ページの一番右の下の市営墓地管理手数料、次のページにも関わりますが、市営墓地の管理料についてお尋ねしたいと思っております。

ここでも滞納が発生しているのではないかというふうに思いましてそのことに関わってお尋ねしたいのですが、その管理料での現年度繰越し等があると思うのですが、滞納の件数と金額を教えてください。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） まず、滞納の件数でございますが、令和2年度末現在で44件で、額としましては、こちらは記載のとおり25万4,400円となっております。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 44件ということで、あそこは我元行と永楽院が2か所ありますよね。それで、永楽院のところは、契約したときには入っているというふうに伺っております。それですから、要するに我元行のところの数値で見ると438区画ですか、決算資料の41ページにありますけれども、我元行のところの438区画の中の今44件というふうに理解していいのかどうかを確認しておきたい。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） 御指摘のとおりでございます。

委員（松本 進君） 分かりました。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

委員（松本 進君） はい。

委員長（山元経穂君） 高重委員。

委員（高重洋介君） ページ数は戻ってもいいですか。

委員長（山元経穂君） はい。

委員（高重洋介君） 63ページの中ほどの駐車場使用料なのですが、今年度の決算が802万5,780円、昨年度が368万9,890円なのですが、これは北崎駐車場の契約の部分が aumentato と考えてよろしいでしょうか。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） おっしゃるとおりで、北崎の市営駐車場または港の駐車場、この2件を含めて今回決算しております。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） その上の住宅使用料の未済額で、住宅使用料と子育て世帯向け地域優良賃貸住宅使用料の未済額の内訳って分かりますか。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） 子育て世帯向け住宅の未済額はないというふうに認識しております。すみません、詳細は私のほうでは把握しておりませんが、私の認識の限りではその

ように認識いたしております。

委員（竹橋和彦君） 分かりました。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、66ページ、国庫支出金について。

国庫支出金はページ数が多いので、まずは69ページまで。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、73ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、74ページから78ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 分かりました。

それでは、16番、78ページの中段、県支出金について。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、ページが飛びます。

90ページの一番下、財産収入について。96ページの頭まで。

松本委員。

委員（松本 進君） 95ページの下の方なのですが、不動産売払収入で、95ページの保留地売却収入、これがあります。これは多分、区画整理の中ではないかなと思いますけど、具体的な面積と坪単価とといいますか、それを教えていただきたい。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） 保留地の売払収入でございます。

面積が54.39平米で、売払い単価は4万8,800円となっております。

委員（松本 進君） 分かりました。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、96ページの上段、寄附金について。

今田委員。

委員（今田佳男君） 97ページのふるさと応援寄附金で、今年はかなり多かったと思うのですが、企業版ふるさと応援寄附金は510万円、これは件数と、それから金額とかというのがホームページを見ると前は名前が出ていたりしていたのですが、今は名前が出ていないということなのですが、分かる範囲で教えていただきたいと思います。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） 企業版ふるさと応援寄附金の内訳ということですがけれども、件数は2件になります。企業名のほうですけれども、たしか企業さんのほうから、出させていただきたくない、名称を出さないでという御希望がありましたので、ホームページのほうには記載しておりません。よろしいでしょうか。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 昨年頑張っていたいただいて、新しく制度を設けていただいてこういうふうな形で応援金を頂いている。今後も、いろんなところから応援金が、援助がいただけるようなことで、活動というか、いろんな形でアピールしていただきたいと思います、その点はどうか。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） いろいろ広報、周知をすることで件数が増えていくと思っておりますので、ホームページ他も活用してであるとか、いろんな会合に市長のほうが出られたときなどに御紹介いただくとかなどで様々な機会を捉えて広報のほうをしたいと思っております。

以上です。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、96ページ下段、繰入金、98ページの上段まで。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） その下、繰越金について質疑のある方はお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） その下、諸収入についてですが、1の延滞金と加算金及び過料について除く部分でお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） では、ページが飛びます。

104ページ、市債についてをお願いします。109ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） では、続きまして総務費のほうに入らせていただきます。

総務費、まずは112ページから115ページまで。115ページの2、行政連絡に要する経費については除きます。質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 113ページの人事に要する経費の中の3番、時間外勤務手当のことについてお伺いをさせていただきます。

時間外につきましては、令和元年度よりは1,300万円ほど減少しております、実際に。令和2年度の予算よりも1,000万円少なくなっているということでございます。職員の長期勤務の健康面の改善や、財政健全化にも大変効果が出ていると私は評価しております。その中で、健全化で、令和2年度の人件費については2億円を目標に計画でやっておりますが、そのことについて分かる範囲でお答えをお願いいたします。

委員長（山元経穂君） 総務課長。

総務課長（岡元紀行君） 人件費の削減についての御質問でございます。

人件費の削減につきましては、6月の定例会におきましても1億9,000万円の削減ということで御答弁申し上げたところでございます。その予定に対しまして、順調にと申しますか、職員の給料月額の見直しを行っておりますので、それについては健全化計画の予定どおりの実績になっております。

令和3年度におきましても職員の給与の見直しを進めておりますので、これと同様の額の効果を見込んでおりますので、引き続き財政健全化の達成に向けて取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

以上です。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 私も、同じく時間外勤務手当1,000いくら余りのところでお尋ねしたいと思うのですが、これも決算資料を出させていただいて、24ページに市の職員の残業時間という資料と、そしてその次の25ページには総務省が実施した心の健康といえますか、メンタルヘルスの資料も出させていただいております。

ここでお尋ねしておきたいのは、特に総務省が心の健康調査を初めて2020年度調査しております。その関連の資料も、先ほど言いましたが、出させてもらって、特に残業時間が相当多くなって、この資料では年間最大で560時間の人がおられます。そして、月にすれば80時間超の職員が6人おられるということで、80時間超というのは過労死の基準を超えている数値であります。

ですから、そういった状況があって、そして先ほど申し上げたような、総務省が初めて心の健康調査をしたということで、竹原市の場合は6人休職という状況がありますけれども、新聞報道を紹介しますと、こういった心の健康と申しますか、そういったものがあって、精神疾患などで休職する人が増えているというその背景として紹介したいのが、行政合理化に伴う人員削減が行われてきたということが1つ、それと逆では、もう一つでは住民サービスに伴う業務量が増大したということで、職員1人の負荷が増えているという実態を心配している内容なのです。

ですから、竹原市の状況も、さっき紹介した総務省の調査でも、令和2年度は6人の方が休職されているという資料がありますし、先ほどの残業時間のことも資料から紹介いたしました。ですから、こういった現状があって、こういった休職の方、残業時間ということがずっと変わっていないと思いますけれども、何かその改善策と申しますか、対策を行って減らすという方向があったのかどうかを確認しておきたい。

委員長（山元経穂君） 総務課長。

総務課長（岡元紀行君） 職員の残業時間についての御質問でございます。

資料の中で、令和2年度におけます残業時間のほうの表をつけさせていただいております。令和元年度と比べまして総計で約500時間、だんだん時間については減少している状況にはございますけれども、残業時間については決して少ない数字ではないというふうに認識しております。特に令和2年度におきましては、新型コロナウイルスに関しまして定額給付金の給付事業でありましたり、国勢調査、そういった大きな事業が集中したものがございました。そういった中での残業時間の増というものも一部見込まれているところでございます。

そういったところを防止するということでございますけれども、本市におきましては産業カウンセラーを招きまして毎月1回の職員相談を実施しているところでございます。こちらには本人からの相談もありますし、逆に人事の担当のほうからも職員を見て、相談をなささいというような者も実施をさせているところでございます。特に若手職員等につ

いては、こちらから相談するようというところも実施しております。そういったところで、メンタル不調を事前に防止するための取組というものを行っております。あわせて、メンタルヘルスに伴いまして毎年のチェックを行っております。これは法的に定められたものでございますが、全職員を対象に健康調査を実施しております。この中で高ストレスの職員については産業医の相談を本人の希望の下で実施をさせているところでございます。

時間外の削減につきましては、事務事業の見直し等で削減を進めているところではございますが、引き続き適正な人員配置を進めまして時間外が増えないようには取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） このメンタルヘルスのことは毎年残業に関わってお尋ねしていて、これまで市としてもそういう対策は取られてきた。取られてきた結果、私が言いたいのは、こういった休職の方が6人いるとか、精神疾患に関わって。それと月に80時間というのは過労死を超える状態があると、それは先ほど言った背景も紹介しました。ですから、もうちょっとこの点でお聞きしたいのは、抜本的にこれを解決するためには、今までやってきたけれども、こういう休職者もあるし、残業時間は過労死を超える人も発生していると。ここを解決するためには計画的に人を増やすという方向しかないのではないかと思いますので、そこはそういう取組の予定とか計画とかがありますかどうか聞いておきたい。

委員長（山元経穂君） 総務課長。

総務課長（岡元紀行君） 職員につきましては、毎年の業務量を調査いたしまして、それに見合う職員数の配置ということに努めております。その調査に基づきまして、職員数、採用も含めてですけれども、計画を立てて実施をしているところでございます。その上で、突発的な業務等が発生した場合には会計年度任用職員を中途でも任用しまして、そういった部分について、業務量に対応する人的な不足する部分については対応しているというような状況でございます。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

松本委員。

委員（松本 進君） ここでお尋ねしたいことは入札に関わっての入札事務、これは財政

課が担当することで、事業自体は各いろいろな担当で決算でも出ると思うのですが、入札の事務に関わってここでお尋ねしておきたいのですが、概略を聞くと、決算資料、これも出させてもらって、建設工事一覧表の中で、2020年度一覧表の中で140件の資料が出ていて、その中の落札率100%が17件とか、99%超、これが20件あたりということで全部で37件で、全体の26.4%が高い状況の入札率になっています。その高いのが悪いとかというよりは、本来こういう競争入札という原則から見て、こういった37件、26%が100%あるいは99%超というような事態をどのように見られているのかなということをお聞きしたいと思います。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） 主に建設工事の入札の件だと思いますが、昨今、平成30年災害からかなりそういった災害復旧工事の業務量が増えてきております。基本、一般競争入札で、一定の応札可能な業者数を確保した上で一般競争入札という形でやらせていただいておりますが、それぞれ業者の手持ち事業でありますとかそういった関係で応札者が少ない場合、こういった落札率が100%とかそれに近い額になる傾向にあります。こういった今災害復旧工事でかなり事業数が増えている中で、応札者が少なくなるというのはあらかじめこれはある意味致し方ない部分がございます。

こちらといたしましては、最低制限価格を設ける中で、できるだけ経済性を発揮してそれに近い額で落札していただくというのは非常にありがたいことではございますけれども、それはそれぞれ業者の手持ち工事も含めて事情がございますので、100%から最低制限価格の範囲内の落札ということは適正な落札ということで考えているところでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 特に災害復旧工事というのが調べてみますと相当ありましたから、ぜひそういった適正な入札執行をお願いしたいと思うのですが、

それともう一つ、入札事務に関わってお尋ねしたかったのは、資料を見てみますと、失格者というのですか、それが結構あったので、だからその業者が何名あって、それで失格者があれば失格率が出るのかなと思ったら失格率のところはゼロだったもので、これは資料の説明になるのかも分かりませんが、分かれば失格者が出ているのに率のところは書いてなかったものですから、どういうことかなということだけの説明をお願いしたいという

ふうに思います。

委員長（山元経穂君） 財政課長。

財政課長（向井直毅君） こちらは失格という概念が、今回の件数といいますと、最低制限価格以下で応札された方というのは必然的にこれは失格ということにはなるのですけれども、ただそれは失格率という部分で考えますと特に不適切な入札があったとかそういったものではございませんので、そこは数字として上げていないということで、基本的にはこちらに数字が上がってきているのは全て最低制限価格で応札をされた方が数字で上がってきているだけというふうに御理解いただければと思います。

委員（松本 進君） 分かりました。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして116ページから119ページまでの間をお願いいたします。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 117ページの総務一般事務に要する経費の10番、消耗品、予算額が885万2,000円で執行額が1,379万2,374円となっています。この理由と何を購入されたのか。

委員長（山元経穂君） 総務課長。

総務課長（岡元紀行君） 消耗品の購入についてでございます。

1,379万2,000円の内訳といたしまして、主には市例規の追録代、こちらが約773万3,000円でございます。そのほか、法規集の書籍の追録代といたしまして220万8,000円、そしてそのほかはコピー用紙、またはプリンター等のインクなどを購入いたしております。

増の要因でございますが、市例規の追録代というものが増となっております。この中身といたしましては、昨年度、会計年度任用職員の条例を定めましたときに関係条例の件数がかかなり多くございましたので、必然と例規の追録数も増えるということで、その必要な金額が増となっているということでございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、続きまして120ページから123ページの上段まで。

今田委員。

委員（今田佳男君） 121ページの8番、会計年度任用職員に要する経費のうち、公務災害負担金489万円というのを、これの中身を教えてください。

委員長（山元経穂君） 総務課長。

総務課長（岡元紀行君） こちらにつきましては、職員が公務中または通勤途中に災害、事故等でけがを負った場合に対応いたします災害の補償の保険と申しますか、そういったものの負担金でございます。広島県の市町総合事務組合へ本市が加盟しておりまして、そちらへの負担金の支払いでございます。

その中で内訳といたしましては、公務災害の負担金としまして181万7,000円と、このほかに遺族補償年金というものがございまして、これは昭和42年に竹原で大きな災害がございました。そのときに消防団員の方がお亡くなりになられていると。その方の御遺族に対する負担金というものを本市のほうで負担をしております。こちらが307万4,000円ということでございます。

ちなみに、この遺族補償年金でございますけれども、2件ございました。この二方につきましては、お二人とも御遺族の方が令和2年度末まででお亡くなりになられておりますので、今年度までの負担金ということで御理解ください。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 121ページの地域公共交通に要する経費の中の12番、公共交通推進支援業務委託料ですが、それが431万3,000円かかっておりますが、委託先と実績はどうであったかをお伺いいたします。

委員長（山元経穂君） すみません、先ほどからマイクの切り忘れ等が多いので、委員の皆さん御注意いただきますようよろしくお願いいたします。

企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） 公共交通推進支援業務委託料の中身ということで、委託先のほうは八千代エンジニアリングという会社になっております。

中身としては、今年度の実証運行を行っておりますけれども、それに向けての各種の手続の補助であるとか、運行の経路の検討であるとか、料金のシミュレーションであるとか、そういった実証運行に向けての様々な調整、プランニングというところを実績のある業者さんをお願いして行っております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） この事業は、令和2年と令和3年にかけて実証実験等を行っていくと。実際、具体的には吉名地域と仁賀地域だろうと聞いておりますけれども、なかなかコロナ禍でございまして、どうしても地域の方との協議が今から必要になってこようと思っておりますけれども、いろいろ吉名と仁賀ではなかなか公共交通に対する今の現状も違うところがございまして、地域の方とよく協議をして、今後対応して、いい公共交通体制にさせていただくようによろしく願いいたします。

企画政策課長（三上満里子君） よろしいですか。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） それでは、122ページ中段、文書広報費について。

道法委員。

委員（道法知江君） 教えてください。文書広報に要する経費のシティプロモーションの委託先と委託内容を教えてください。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） シティプロモーション事業推進業務委託料70万円の委託先ということで、こちらのほうの内容がたけはらファンクラブの会員さん向けに、竹原市にお越しいただいた際に会員の特典ということで文化施設の周遊券を通常より割引いた形で販売するというを行っております。そのための事業になっておりまして、委託先としては、すみません、度忘れしてしまいましたが、販売手段が案内窓口で行っておりますので、そちらでの販売になっております。

内容としては以上でございまして、すみません。

委員長（山元経穂君） 続けても大丈夫ですか。今答弁がなかったのですが、いいですか。

道法委員。

委員（道法知江君） 委託先ですので、調べてもらったら教えていただきたいなというふ

うに思います。

それで、シティプロモーション事業については新年度の新規事業ということで、シティプロモーションの予算のときの説明になると、ふるさと大使、たけはらファンクラブ、仮称ですけども、その創設と運営ということではなかったかな。これに対して70万円、委託料として支払ったというような理解でよろしいですか。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） たけはらファンクラブの運営自体は市役所で直接行っておりますので、運営業務の委託というのは行っておりません。ですので、70万円は、先ほどの会員向けの特典ということで販売しているその部分だけの委託料になっております。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） たけはらファンクラブを立ち上げるための委託だけということの理解でよろしいですか。それだけではないですよ。何かいろいろなものが、ファンクラブを立ち上げる、その辺を分かりやすく、すみません、分からないので教えてください。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） シティプロモーション推進事業ですよ。70万円のことですよ。70万円ですよ。すみません、たけはらファンクラブそのものは、先ほども申し上げたように、市で直接やっておりますので、それに関しての業務の運営に係る委託というのは発生しておりませんので、ですので今言っている70万円の委託料はさっきの周遊券の販売に係る事務手数料、委託手数料ということでお支払いしております。

委託先は、すみません、先ほどお答えができておりませんでした。いいね竹原さんのほうになっております。

委員（道法知江君） 分かりました。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

ほかに文書広報費、ございませんか。

私語は慎んでいただきますようよろしくお願いいたします。

企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） すみません、大変失礼いたしました。金額の桁を間違えておりました。「70万円」ではなく「700円」です。実際に販売した実績に応じた委託料というか、手数料という形で、事務手数料分を委託料という形でお支払いしております。

すので、すみません、件数に応じたということで700円となっております。申し訳ございません。失礼いたしました。

委員長（山元経穂君） 理事者におかれましては、正確な答弁をしていただきますようよろしくお願いいたします。また、委員の方も、疑義があれば手を挙げて質疑をしていただきますようよろしくお願いいたします。

次、財産管理費について、127ページの上段まで。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 125ページのふるさと納税に要する経費のうちの7番、返礼品報酬、予算では1,500万円、昨年の実績が1,253万9,000円、1,600万円以上に今回増えていますので返礼品も増えるということではありますが、その返礼品の実績について、まずその効果とかをお伺いさせていただきます。

委員長（山元経穂君） 総務課資産活用担当課長。

総務課資産活用担当課長（井上顕良君） 返礼品報酬のことについてだと思います。

これにつきましては、昨年度、寄附額が増額、かなりの額という形で、倍増に近いような形で増額しておりますので、それに合わせて返礼品の額も上がっております。大変人気がいいのは生ガキであるとか、あとメディアのほうでかきカレー等が取り上げられて、そういったものが返礼品としての希望が多く出ております。

寄附額としましては、大体1万円から3万円ぐらいの層がほぼ全体を占めるというような状況になっております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） ふるさと納税が増えるということは大変いいことだと、またそれで返礼品の種類もいろいろ増えてくると思います。それが地場産業の活性化にもつながりますので、その辺も含めて今後ともやっていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、126ページ、企画費について、市史編さん事業に要する経費は除きます。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 127ページの18のJR呉線複線化等期成同盟会負担金30万円、これはこの前の質問で総務部長が何か違うような答弁をいただいたのですが、今、呉線のほとんど、半分くらいは無人化になっているのですが、大きなギャップがあると思うのですが、こういうものを市長が出席されるのだらうと思いますが、いつまで続けるおつもりなのか。本当に複線化の事業を進めるような、各関係、市の目的を一にしているのですか。その点について。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） JRの呉線の複線化等期成同盟会の負担金についての御質問ですが、こちらのほうは複線化等とありますように、まずは呉線の利用促進を図ることがあります。そのための呉線を活用したPRのイベントであるとか、観光列車を走らせた際の沿線地域を挙げての支援であるとか、あとは関連する提案活動であるとか、そういったことに事業費として負担金が使われております。

複線化が実現するものなのかどうかというところは私のほうで判断しかねるところがございますけれども、まずは利用促進というのが第一だと思いますので、それに向けた活動というのをこの会を使って、加入されている自治体さんと一緒に取り組んでいければと思っております。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 等と書いて書けば何でも解釈できるようなことだが、そうはいかないのよ。それで、事業を見たら、繰越金が400万円ぐらいある。そして、乗車促進のためにどのような運動をしているのかいろいろ聞きたいのですが、聞いてもおたくは困ると思うから聞かないのですが、竹原はセブンイレブンも撤退したし、御承知のようにいろいろ衰退してきているのです。だから、費目を変えないと。変えて、これをやるのですということを明確にしてもらわないと。主目的はこれになっているのでしょ、JRの複線化。それはもう1200%ぐらい不可能だから、だからここは市民の税金だから明確にこういうものをやるのですということで書いてもらわないと困るのですが。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） 会の名称に関してでございますけれども、そもそもの会の成り立ちといったところがどういったものであったかというのを、詳細を承知していないところではあります、何を目的とした会であるかということをはっきり明確にせよという御意見についてはこの会の事務を執られているところと共有して、そういった御意見

があるということは共有をしていきたいと思います。ただ、複線化という名称にはなっておりますけれども、あくまでも複線化に向けての第1弾としての利用促進、これがまず第一の目的になっております。こちらのほうをしっかりと取り組んでいきたいと思います。

委員長（山元経穂君） 総務部長、答弁できますか。

総務企画部長（平田康宏君） はい。

委員長（山元経穂君） 総務部長。

総務企画部長（平田康宏君） J R 呉線複線化等期成同盟会につきましては、先ほど委員のほうから2月の定例会のほうでも御質問いただいた件でございます。複線化という名称があるということもございまして、繰越金が多額であるということで御指摘をいただいたところでございます。

我々としては、先ほど企画政策課長も申し上げましたが、呉線の利便性向上というのが周辺市町、関係市町等の大きな目的でございます。おっしゃるように、将来的に考えましてもJ R 呉線の複線化というのは大変厳しい状況であろうかと思っておりますが、その点も含めまして沿線の市町と、委員から御提起いただきました御指摘も踏まえまして、今後の会議等で我々のほうからもお話をさせていただくのは継続してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員（宇野武則君） 最後に。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） もう何十年よ。そして、現実には、乗るお客さんがほとんど昼はいないし、朝の通勤、通学ぐらいなの。だから、呉から広島までというのならまだ分かるが、竹原市から三原まではほとんど可能性がないというか、竹原市が手を挙げて名称を変更しましょうと言うのはなかなか言いにくい面があるのか分からないが、しかしそうならそれでこの名称は変えないと。誰が見ても、この文言を見ると複線化と思う。だが、そうではなくお客を増やす協議会なら協議会のような形に衣替えしないと。

可能性があるものならいいです。しかし、売店そのものも撤退したのだから、採算が成り立たないというので、そういう状況の中で複線化なんかどこから考えても無理だから、だから現実に即したような名称に予算書だから書き換えてもらわないと問題があるのではないかと言うのです。

委員長（山元経穂君） 総務企画部長。

総務企画部長（平田康宏君） 繰り返しになりますが、沿線の市町とのお話もございまして

し、委員のほうからもなかなか名称を一気に変更というのは難しいという言葉もいただいておりますが、我々としましては御提起いただいた御指摘を踏まえまして、今後も継続した関係者との協議につきましては鋭意努めてまいりたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思います。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） ないようですので、ページが飛んで132ページ上段、公平委員会費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、134ページから137ページ、諸費についてですが、135ページの市税過年度償還金等に要する経費と一般事務に要する経費は除きます。何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、136ページ上段、交通安全対策費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 次に、その下、基金管理費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 136ページの下段、電算管理費、139ページまでで質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、徴税費の税務総務費、141ページの2、固定資産評価審査委員会運営に要する経費のみお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、146ページ、149ページまで、選挙費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続いて、148ページから151ページまで、統計調査総務費に

ついて質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、150ページから153ページ、監査委員費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 次に、民生費に入ります。

民生費の152ページ、社会福祉総務費で、157ページの9番、特別定額給付金給付に要する経費、10番、新生児応援給付金給付に要する経費、11番、物品調達に要する経費の3つについて質疑のある方はお願いいたします。

道法委員。

委員（道法知江君） 157ページの9番、特別定額給付金、この内容と給付の人数を教えてください。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） 特別定額給付金の給付に関して、その内容と人数ということでございました。

内容につきましては、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、市民1人に10万円の支給を行うというものでございます。これについては、基準日の4月27日において住民基本台帳に記録されている者ということとしております。

また、定額給付金の給付人数ということでございますけれども、これにつきましては2万4,825人の方に給付を行っているというものでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） これは対象者に対して何割支給されていますか。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） 対象者における申請者のパーセントということでございます。

これにつきましては約99.8%ということでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

道法委員。

委員（道法知江君） 同じく、10番の新生児応援給付金、この内容、中身と人数、そしてパーセントを教えてください。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） 新生児応援給付金の内容でございますけれども、これにつきましては令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生をいたしまして、最初の住民登録を竹原市で行った子供の保護者に対して子供1人につきまして10万円を支給するものでございます。

これにつきましては、これまで令和2年度におきまして81人、繰越しをしておりますので令和3年度におきましては10名ということで、全体としては91名ということでございます。

以上でございます。

委員（道法知江君） 割合は。

危機管理課長（堀信正純君） 給付率については、対象者については全て行っているということで御理解いただければと思います。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 申し訳ありません、引き続いて159ページの社会福祉総務費の消耗品とはどういう内容ですか。教えてください。

委員長（山元経穂君） 会計課長。

会計課長（宮地康子君） ただいまの御質問は157ページの11番の御質問でよろしいですか。

こちらの消耗品の内容につきましては事務用品でございまして、ファイルとか朱肉とかそういった事務用品をこちらから購入している、そちらの支出の予算でございます。特に変わったものというか、一般的な事務用品の支出でございます。

委員（道法知江君） 分かりました。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、170ページ、人権推進費、173ページまでですが、3番、人権啓発活動に要する経費のうち、18番、竹原市企業関係者同和問題研究協議会負担金、173ページのこの1つだけに質疑のある方はお願いいたします。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 負担金のみですよ。

委員長（山元経穂君） そうです。

委員（竹橋和彦君） これは、特措法が法改正されて地域改善対策特措法に変わっていると思います。今現在も同和問題というふうには企業間で使われること自体どうなのかなというのを考えていただければなと思うのですが、いかがでしょう。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） こちらの企業関係者同和問題研究協議会負担金でございます。

こちらにつきましては、市内事業者、金融機関また公共団体等が会員として構成されている協議会でございます。内容といたしましては同和問題をはじめとする様々な人権を取り巻く環境や課題に対する正しい理解と認識が深められるということを活動の目的としている協議会でございます。

確かに特措法等の改正がございまして、名称について変更するかどうかということはありませんけれども、従来こういう活動をしてきておりますので、特に名称は変更せずに、現在では人権問題等の課題、また正しい理解を深めるという活動をしておりますので、名称は変更せずに活動しようということで現在もこの名称となっております。

以上です。

委員長（山元経穂君） 竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 法の性質から考えて、要は同和というのを削除しているわけです。その法の性質からしてどうなのかなというのがあります。質問させてもらったのですが、上の部分でも名称を人権と変えているのですから人権問題でもいいのではないかなと思うのですが、その点についてはどうですか。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 名称につきましては、各種人権啓発団体等が名称を変更されておりますのでこちらについては市のほうからも提案をさせていただいた経緯がございますけれども、企業関係者が集まっている場で名称はこのままでいこうということで結論に至っておりますので、そういう経緯がございますので、そういうことで御理解いただきたいと思っております。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） ぜひ検討していただきたいと思います。

委員長（山元経穂君） 答弁は。

委員（竹橋和彦君） いいです。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、196ページ、199ページ、災害救助に要する経費のうち、3、災害派遣手当、18、職員派遣負担金のみについて質疑がある方はお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、198ページ、衛生費、201ページをお開きください。201ページの2、地域保健医療対策に要する経費のうち、10、消耗品費の一部、12、測量設計委託料の一部、14、施設整備工事の一部について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、220ページ中段まで、労働費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） なし。

引き続き、農林水産業費に入ります。

農林水産業費、まずは220ページから223ページの農業委員会費までで質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） その後、224ページ、225ページまで、農業総務費、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、224ページ下段、農業振興費、229ページまでで質疑のある方はお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 227ページの農業振興対策の経費の中の12番、竹原農業振興

地域整備計画更新業務委託料214万円ですが、これにつきまして、委託先と実績についてお伺いさせていただきます。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 農業振興地域整備計画更新業務委託料214万円でございます。

こちらにつきましては、農業振興計画の見直し業務ということでございますが、令和2年度、令和3年度の2か年で実施することとしております。

委託先につきましては、一般財団法人広島県森林整備・農業振興財団でございまして、令和2年度の事業につきましては主に基礎調査ということでございまして、市内の農地法、その他の関係規定であります地域の色づけ、あるいは土地所有者に対するアンケート調査、それ以外には圃場整備等、農業基盤整備をしているものの箇所づけ、こういった業務を令和2年度は実施しているところでございます。

以上です。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 竹原市の農業を取り巻く現状は、高齢化が進んで担い手もなかなかいらっしやらない状況の中で、農業をすればと云ったら鳥獣対策も大変苦慮されているし、圃場整備をされているところでさえ耕作放棄地が増えている現状もございます。今後、この計画に基づいてどのように守るべき農用地について適切に管理をするのかお伺いさせていただきます。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） まず、先ほど守るべき農地ということがございましたけれども、農業振興計画につきましては、竹原市として一定規模の優良農地をエリアを決めて守るということで農振地域を定めさせていただく内容になっておりますが、現在確かに農業者の担い手の方の高齢化が進んでおまして、耕作放棄地、あるいはそういったところへの太陽光発電設備の設置等が進んでいる状況にございます。一方では、本市におきましては、若手農業者、昨年度も3名くらい、30代、40代の方が竹原市で農業を始めるといって就労いただいたところでございますが、こういった方が営農していく上でまとまった農地が必要であるという部分がございますので、一定規模の優良農地を集積可能なエリアにつきましてはしっかり守るべき農地というふうに考えております。

そういったことを含めまして、今回の見直しにおきましては、そういった若手農業者、

竹原で農業をしたいという方がこういったエリアでやりたいなということを思っていただけのような場所，農地を農振地域に指定しまして，集団農地として優良性を損なうことのないよう計画の見直しを進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 現在の圃場整備の中に農業振興地域があるではないですか。そこらについては引き続き今の農地を守っていくということでもよろしいのかと思うのですが，今後の重要な竹原市の農地を守っていただくという大切な事業だと思いますので，今後ともしっかり対応していただきますようによろしくお願いいたします。

以上です。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 私も1点，227ページの下の方なのですが，地域経済循環創造事業補助金5,000万円，この事業効果というのを御報告してもらえればと。特に，雇用なんか分かれば具体的にお願いしたい。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） こちらの地域経済循環創造事業交付金5,000万円でございますが，こちらにつきましては瀬戸内産果実を活用したワインと，三原，竹原エリアの魅力をフル活用した農業の6次産業化，及び交流人口，関係人口拡大創出事業ということを目的に5,000万円の交付金を交付させていただいたところでございます。事業費全体では約1億7,000万円くらいの事業でございまして，本市は5,000万円の交付金を国から10分の10で交付を受けまして交付したという内容でございます。

実績といたしましては，まず竹原でのブドウ園のブドウ栽培ということで，現在約3ヘクタール程度の農地を借り受けましてそちらでブドウ栽培を始めたということと，併せて竹原産のキャンベルのブドウを約1トン程度仕入れてワインの製造を行っているという取組でございます。あわせて，現在，町並み保存地区のちょうど真ん中辺りでございますが，こちらにワインの販売所を設けてこちらでワインの販売，竹原のPRに取り組んでいただいているという内容になっております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） 答弁になかったのは，特にこういった補助金を出して竹原市の，さ

つき言った農地でのブドウ作りとか販売とかいろいろあったのですが、そこで、ざっくりという聞き方がいいのかどうかは分かりませんが、雇用は何人ぐらい創出できたよというのを把握されていればお聞きしておきたい。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 雇用ということでございますが、こちらにつきましては、まず直接的な雇用におきましたら、農作業をされるのに1人、農業者が従事しながら、またピーク時には何人かお手伝いいただきながらやっているということと、町並みの事務所でも1人、職員を雇用いただきまして対応いただいているということでございます。

また、間接的な部分でございますが、竹原産のキャンベルブドウ等を購入いただいているということでございますので、ブドウ農家さんの、あまりこれまでキャンベルについては値がどちらかという低い部分がありましたけど、一定額で購入いただくのと、また竹原のブドウが注目を集めているという間接的な効果もあったものと考えております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

委員（道法知江君） 229ページ。

委員長（山元経穂君） 229ページは入ります。

道法委員。

委員（道法知江君） 郷土産業振興のところなのですが、229ページなのですが、施設の運営の委託料、これは当初予算だと1,100万円、これが決算額だと613万9,000円ということで、スタッフの人件費なのかどうかを確認させてください。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） こちらの施設運営等委託料でございますが、こちらは委託先が芸南漁業協同組合でございますして、加工業務のほうを委託させていただいているところでございます。こちらの実績につきましては、業務量に応じて委託料を毎月お支払いさせていただいておりますので、当初の見込みよりはこういった形で、実績はこの金額ということでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 下のほうを見ると、加工用原材料が予算は516万円、実際に原材

料として327万6,000円、これを見ると原材料が減っているというこの原因は何でしょうか。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） こちらの郷土産業振興館でございますが、実は今回コロナの関連予算のほうを活用させていただいたということもございまして、計上がこちらのほかにコロナの関連予算として、加工所、郷土産業振興館に要する経費は229ページでございますけれども、前のページの227ページにこちらはコロナ関連ということでございすけれども、15番の加工用原材料ということで、こちらはコロナの交付金を活用して原材料のほうを仕入れさせていただいておりますので2か所に計上が分かれているということになります。トータルをいたしますと、仕入れ額でいたしますと622万5,755円という形になっておりますので、昨年度よりは仕入れ額は増えているという状況でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 昨年度よりは増えている。だけど、人件費というのが、業務量が減っているから予算の1,100万円のスタッフの人件費が減っているという、これがよく分かりません。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 今回、仕入れ額は増えておりますけれども、加工業務内容がまずはスタッフの経験によりましてより効率的になっているという部分もございす。が、コロナの関連で、ふるさと産品福袋PR事業ということで御宿泊いただいた方にお魚の詰め合わせを送付させていただいたりとか、また地元産品活用支援事業ということでこちらは新商品の開発等をさせていただいたりということがございましたが、産品福袋事業、詰め合わせを送るのは特に加工をしないまま送らせていただくとかということで、加工の業務内容が若干、内容的に簡易だったという部分もございまして、仕入れ額は増えましたが、業務内容が若干簡易であったということで委託料は減少しているという内容になっております。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 芸南漁協さんのスタッフの人件費という理解でよろしいですか。

産業振興課長（國川昭治君） はい。

委員（道法知江君） そうすると、何名いらっしゃったのか教えてください。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 現在、常時そこで作業している者は4名体制で回しております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） その関連なのですが、聞きたいのは、これは毎年、去年もいろいろ質問が出てきたところですけども、特に販路の開拓というのですか、いかにここで加工食品、いろんな地元のを加工して広げるかということで、ざっくりでいいのですが、去年と比べて決算年度で、新たな今商品開発ということもありましたけども、具体的にどういった商品開発があって、それが販路に結びつけばいいのですけども、広がったのかなというのを教えてほしいし、前から言っているのは学校給食とか、なかなかそこで、去年も私が質問しましたが、学校給食なんかで地元の魚という分ではなかなかいろいろ同じサイズとか量とかに課題があって難しいということがあって、加工すれば一定の広げる余地があるのではないかなという質問をしたこともあるのですが、その点も併せて販路の拡大についてお聞きしたい。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） まずは、令和2年度の取組でございますが、まずは新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりましてなかなか販路拡大の取組に若干制限があったということで、難しい面がございました。ただ、その中で、商品開発ということでございますけれども、まずは市内事業者と今連携をいたしましてタイの刺身等をパック詰めにして、東京方面のスーパーに置いていただくということで今試作品のやり取りをさせていただいたり、併せて飲食店との商品開発ということでございまして、こちらについては市内の飲食店の2か所から厨房を貸してほしいという依頼がございまして、施設をお貸ししながらスタッフが手伝う形で現在レトルトパックのような商品開発を今進めているという状況でございます。その他でございますが、報道等もございましたが、吉名のジャガフライ、学校がレシピ開発したものを販売させていただきましたり、海ブドウの正しい食べ方ということで広島の方の川中醤油さんに特製のポン酢を造っていただいたり、そういった取組を現在させていただいております。

また、今回、令和2年度、コロナで活用させていただきまして乾燥機のほうを導入いただきました。これまでは一次処理のみの加工、保健所の許可ということでございましたけ

れども、今回乾燥機等を導入いただいたということで、新たな商品開発として乾燥させた加工品の商品が今後可能になってくるということでございますので、こちらについては小さなタイの煮干しあるいは小魚の干物等、こういったものも開発しながら進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 松本委員。

委員（松本 進君） いろいろな商品開発をされてこれからというのもあるのでしょうか、例えば19年度、20年度の比較で、新たに商品開発をされて販売額というのですか、そこらにつながったようなのがあれば教えてほしい。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） すみません、商品開発の販路等についてはどうしても年度をまたぐこともございますけども、今人気な部分でございますと、先ほど言いました刺身を1人用ぐらいで化粧した皿に盛ったものを今東京のほうに送るということで、東京のスーパーのチェーン等にも確認いただいてそれを送る準備をさせていただいております。あわせて、ふるさと納税で刺身の盛り合わせを毎月送らせていただくということで、例えば3か月、4か月、5か月と連続で送るのはふるさと納税額の金額によって異なりますけれども、こういったものが現在非常に好評でございますして、今年度でもふるさと納税、その刺身の詰め合わせだけでも121万円程度のふるさと納税をいただいたりということで、ようやく皆さんに取引いただけるようになってきたかと思っております。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） ただいまの郷土産業振興館ですが、去年の団体の使用数はどれぐらいあったのですか。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 団体の使用数といいますのは交流施設と厨房ということでよろしいでしょうか。

まず、調理場のほうの相談をいただいたのが、今商品開発を進めている団体が2団体でございます。交流施設については、手元に資料がございませんけども、私の記憶の範囲では今2団体程度利用いただいているという内容でございます。

委員長（山元経穂君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） せっかくの施設ですから、今あそこへ材料を持っていっている素人が多いのです、素人の方。タイは、今の芸南漁協の福本さんらが主力ですが、三原のほうからも相当入っているのです。そこで、女性会とか中高生とか、よそはそういうことでいろいろ勉強を兼ねて新素材の開発をやっているのです。専門的には女性会のお母さん方です。呉は、今年ふるさと納税がそういう産品で5億円いくら伸びたという記事もあったのですが、あそこだけでは無理があるので、若い中高生ぐらいたったら自分らの嗜好の品物というのはある程度分かっておりますので、そういうせっかくの施設だからいろいろ援助しながらでもそういう団体に新素材を開発してもらおうとかということ積極的にやるべきだろうと思うのですが。

道の駅の製品を私は月に2遍ぐらいは行って見るのですが、私が行くのは一番この製品です。そして、どれくらい売っているのかというのは必ず聞くのですが、海ブドウでもそうですが、海ブドウなんかはもうちょっと工夫したら太くなる。今の海ブドウは、刺身のつまなのよ。だから、もうちょっと温度を調整したらもっと太くなるということが分かっているのです、そこらも含めてもうちょっとせっかくの施設ですから活用すべきだというふうに思うのですが、その点について。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 施設の活用につきましては、現在私のほうも、調理施設2か所、あるいは交流施設が今2団体程度ということでありますので、少ないかなと思っております。今後も、まず加工場のほうの商品開発という部分はございますけども、併せて体験交流施設を通じた情報発信という設置目的もございまして、しっかり、あそこは女性会というお話をいただきましたけれども、こういう方に御利用いただきながら加工所の情報発信に取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、230ページ上段、畜産業費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君）　続きまして、その下、5番の農地費、231ページの下段、生活改善センターに要する経費のみ質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君）　続きまして、林業費、234ページ、2番、林業振興費の1、鳥獣対策に要する経費についてのみ質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君）　続きまして、236ページの下、水産業費、239ページまでございますが、18番、漁場基盤改良事業補助金は、239ページのこれを除くものとして、ほかのところで質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君）　続きまして、商工費に移ります。

238ページから241ページで、241ページ、2、商工業に要する経費、3、企業誘致事業に要する経費、4、工業団地に要する経費のうち、12番の草刈り委託料の一部、18番の竹原工業・流通団地送水設備工事負担金のこの2、3、4の12、18のみで質疑をお願いいたします。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君）　241ページの企業誘致事業に要する経費についてお伺いをさせていただきます。

企業誘致につきましては、予算は46万5,000円で実績は21万3,000円ということで、コロナ禍でなかなか、普通旅費の計上が17万2,000円あったのですが、コロナ禍で対応できなかったということだろうと思いますが、竹原市の現状を考えると企業誘致は大変大切なことだと思うのです。それを、コロナ禍と言いながら旅費を一個も使っていないということについては企業誘致に積極的ではないのではないかと私は考えるのですが、その辺についてお聞かせいただきたいと思います。

委員長（山元経穂君）　産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君）　企業誘致事業に関する旅費が今年度0ということでございます。こちらにつきましては、企業誘致で、旅費は企業を訪問させていただいたりという部分が大半でございましたけども、現在はどうしても緊急事態宣言等によりまして移動を自粛しておりますが、一方でオンラインでの会議ということが可能となっておりますので、どうしても必要な場合にはオンラインによりまして相手とやり取りをさせていただく

ということで、企業誘致については一部そういう制約がございますけども、違った形で現在取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 企業誘致は積極的に取り組まないと、今の竹原の現状を考えると、今後持続可能な竹原市をつくっていくというだけで大変大事な問題だと思いますので、今後ともしっかり対応していただきたいと思います。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、その下、商工業振興費、240ページから245ページの一番上まで、ここで質疑のある方はお願いいたします。

今田委員。

委員（今田佳男君） 243ページの下のほうにある中小企業融資制度預託金2億円、毎年これはずっと出たり入ったりしているのだと思うのですが、市内の金融機関で預託をして、政令市等はやっておられると思うのですが、活用というか、利用の状態とかというのは分かりますか。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） こちらの預託金につきましては、市内金融機関に預託をしまして、2.5倍協調ということでございますので、融資枠は5億円ということで制度を用意させていただいているものでございます。

内容としては、運転資金、設備資金ということで各1,500万円を上限として融資をさせていただいているものでございますが、現在令和2年度末の実績といたしますと、これまでもありますので、全体では今延べ68件の借入れが起こっているということでございます。令和2年度におきましては、融資実行が16件ということでございまして、貸出しでは1億220万円の融資ということでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 2億円の預託をして、言われたように2.5倍で5億円の枠があって1億円程度の活用という話だと思うのですが、これは金額の状況を考えると、金融機関さんとの関係もあると思うのですが、考え直しをされたほうがいいのではないかと——今の活用

状況を見ると——というふうを考えるのですが、その点はどのようにお考えですか。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） こちらの預託金につきましては、確かに利用実績に基づきまして年度当初の預託額を毎年考慮させていただいております。実行額が少ない場合については見直してこちらの額を下げるということを行っているところでございますけれども、令和2年度につきましてはコロナ資金ということで、セーフティーネット等、特別な融資枠が出ましたので、こちらを活用いただく方も多かったものと考えておりますので、来年、こちらの預託額につきましては長い期間の平均等を取りながら預託額を毎年判断させていただいているところでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 課長が言われたように、コロナの関係で別のお金が出たのか、別の融資が出たのでそっちを使われたというお話だと思うのですが、今後は市内の事業者の方、漁協がまたどういうふう動くか分からないということがあるので、いろいろ情報をつかんでいただいて対応していただくように、答弁はいいですから、お願いします。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、3番の観光費、244ページから247ページまでの下段に差しかかるあたりまで、観光費、質疑のある方はお願いいたします。

今田委員。

委員（今田佳男君） 247ページの最後の移住定住受入環境整備事業補助金、私の覚えが悪いのか、予算のときの確認をしていないのですが、どういうことに使われたか教えていただけますか。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） 移住定住受入環境整備事業補助金の内容についてのお尋ねです。

こちらの中身については、コワーキングスペースになるものを整備いただく事業者さんへの補助金ということで事業をしております。実績としては4件の実績がございまして、整備を行ったところでございます。

以上です。

委員長（山元経穂君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 実績としてそういったところが4か所あるという判断で、移住定住受入環境整備をされたところが4か所あるという判断でよろしいのでしょうか。

委員長（山元経穂君） 企画政策課長。

企画政策課長（三上満里子君） そういったコワーキングというか、Wi-Fiとかの整備ができたところが4か所、市内にございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

川本委員。

委員（川本 円君） すみません、245ページの観光宣伝に要する経費の中の12番、観光プロモーション委託料についてお伺いいたします。

今まさにコロナ禍で思うような集客が得られないもどかしい状況の中だとは思いますが、まずこのプロモーション委託料の実績とその効果についてお伺いしたいと思います。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） こちらの観光プロモーション委託料2,400万円程度でございますが、こちらにつきましては3つの事業を委託させていただいております。

まず1つ目といたしましては、観光プロモーション事業ということでございまして、内容といたしましては首都圏での観光プロモーションということで、個人向け、団体向け等に対する旅行商品の開発、あるいはプレスツアーということで、マスコミ関係者の方をお招きしてプレスツアーを実施し、雑誌等に竹原の情報を発信いただくもの、次には周遊プランを作成ということで、市内、大久野島、町並みを周遊いただくようなプランを造成していただいたと。こういったもの等でまず観光プロモーション事業といたしまして、金額で979万9,548円がこちらの委託料でございます。

もう一つが、こちらは中四国エリア誘客促進事業でございますが、こちらにつきましては主には近隣県、中四国を対象といたしまして、旅行商品を造成いただくのに合わせ、ローカル、地方テレビではございますが、テレビを活用いたしまして竹原の情報を発信いただくということでございまして、こちらはテレビですと約11番組で放送いただいた内容になっております。これらの委託料といたしましては1,392万7,100円でございますが、その観光プロモーションと中四国エリアの誘客事業、こちらの委託先が近畿日本

ツーリストでございます。

最後にもう一つが、市の観光PR動画の作成ということでございまして、こちらにつきましてはタネットさんのほうに作成をお願いいたしております、竹原の竹細工体験、塩造り体験、あるいは魚飯等、竹原の味、あるいは町並み観光ガイド、この4つの内容のPR動画を作成していただいたという内容でございまして、委託料につきましては49万5,000円ということの3つで委託をしているものでございます。

観光客数につきましては、どうしてもコロナ禍ということもございまして全体では4割程度減少したということではございますけれども、一方ではアフターコロナに向けて竹原の周知、PRはしっかりできているものと考えているところでございます。こういったメディア等を活用した情報発信という部分におきましては、コロナ禍でございましたけれども、令和2年度も110件程度の新聞、雑誌、テレビ等に取り上げていただいているということでございますので、アフターコロナに向けてしっかり取り組んでまいりたいと思っております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 川本委員。

委員（川本 円君） ありがとうございます。今、アフターコロナというお話が出ましたけれども、今後、予算編成に向けてこれらの観光プロモーション委託料とか観光に関する予算編成がどんどんどんどん大きくなると、予測としてでいいのですが、増えてくるというふうな解釈でよろしいですか。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 観光プロモーション事業につきましては、国の地方創生交付金のほうを活用させていただきまして取り組んでおりますので、令和2年度につきましてはプロモーション事業ということで、全体では当初予算に計上させていただいたプロモーション事業が首都圏でのプロモーションということで1,000万円程度ということでございました。こちらは交付金2分の1を活用しているのですが、観光プロモーションについては令和3年度分も交付金を活用して実施させていただいておりましたほぼ同額でございますので、同水準で交付金を活用しながら取り組んでまいりたいと思っております。

また、今回、今議会で補正予算のほうを計上させていただきましたけれども、コロナの交付金を活用いたしまして観光プロモーションということでまた計上させていただいており

ますので、そういった財源を活用しながらプロモーションについては積極的に取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 同じところの観光プロモーションなのですが、予算のときの説明だと、オリ・パラとか外国人向けのプロモーションとかあったと思います。それとか、インフルエンサー、人を呼び込むというような予算の計上の仕方だったと思うのですが、それに対して効果はどうだったか教えてください。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 令和2年度につきましては、確かにオリンピック、オリ・パラということで説明させていただきましたので、延期になったという部分でございますので、国全体で外国人観光客が少なかったということがございますので、本市におきましてもインバウンド、そういったオリンピック等を目的に入れた方の誘致については残念ながら数字的にはあまり上がっていないという状況でございます。一方では、インフルエンサーということでありますけれども、こちらが、すみません、先ほどプレスツアーということで、この方を招いてという説明をさせていただいたところですが、こちらによりまして、先ほど言いましたように、メディアのほうの掲載が増えているものと考えておりますので、そういったことで効果があったものと考えております。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 先ほど課長に御説明いただきました、今令和3年度の補正予算を可決いたしましたけれども、その中の一般会計でも今回観光プロモーションの委託料として2,200万円支出されるわけですね。そうすると、今まで観光プロモーションにかかってきた経費の中で効果があるものとそうでないとか、さらにどこを改善するべきかというのは新年度予算できっと現れてくるのではないかなと思うのですけれども、それについてというよりも、この決算の中の資料によると、先ほど課長に説明していただいたように、令和2年では110件ほどのメディアが取り上げてくださったと。これは大きいですよ。しかし、今はメディアだけではなく、SNSとかそういったものの発信力というのがかなり強いというふうには思うのですけれども、要するに今まで観光プロモーションにかけてきた経費、竹原市が、そういうのを全部積み上げてどれぐらいの金額なのかというのは一回、金額的には出せるものなのではないでしょうか。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長，答弁のできる範囲でお願いします。

産業振興課長（國川昭治君） 詳細な部分は，申し訳ないのですが，資料を持ち合わせておりませんが，観光プロモーションということで国の交付金を活用しまして取り組んでまいりましたのが平成27年度からということでございます。毎年，当初予算では800万円から1,000万円程度の予算を計上させていただきましたまして取り組んでおりまして，27年度，28年度がほぼそういうことで1,000万円程度という予算でございます。間が空きまして30，元年，令和2年がまた同じように1,000万円程度の予算を組んでいるという内容でございます。

なお，その都度新たなメニュー等，今回のコロナ関連とかというものが出ておりますので，そういったことがありましたら予算が急遽増えたりということもございますけども，当初予算ベースでいうと交付金活用で大体800万円から1,000万円程度を計上させていただいて取り組んでいるという内容でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 国の交付金といえども，またコロナによつての交付金といえども，かなりの金額が積み上げられてきている。要は，市民にとつても年々その効果が現れているかどうかというのが非常にに関心なことではないかなというふうに思いますので，引き続き市民ニーズに，これだけ積み上げられてきている，お金を使つてきているということですので，その効果と検証については今後も厳しく皆さんが注視されると思いますので，しっかり呼び込んでいただく力というのがすごく大切になってくると思います。

アフターコロナに対してもそうですし，コロナがいつまで続くか分からないというものもありますけれども，その辺はしっかり先手先手を打つていただきながら対応していただかないといけないかなと思います。この辺について，すみません，御答弁を最後をお願いします。

委員長（山元経穂君） 産業振興課長。

産業振興課長（國川昭治君） 確かに，現コロナ禍におきましては人が移動を自粛されているという状況でございますけども，今国においてはワクチンパスポートとかいろいろ考えられておりますし，GoTo予算もそのままでございますので，それに向けてしっかりこれまでの取組の効果検証をしながら，また今回補正を計上いただいておりますが，近隣県また全国にプロモーションをかけまして，そういう時期が来ましたときには遅れることなく誘客ができるように取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

委員（道法知江君） ありがとうございます。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 委員の皆さん、多分12時を超えていると思いますが、続けていって構いませんか。

では、続けていきます。

続きまして、246ページから249ページ、消費対策費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、土木費、248ページ、土木総務費、251ページの4、物品調達に要する経費のみ質疑をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、268ページ、269ページの都市再生整備計画費の1、都市再生整備計画に要する経費のうち、12、調査分析委託料の一部のみ質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、268ページから271ページ、伝統的文化都市環境保存地区整備費において、伝統的文化都市環境保全地区整備費、1、景観道路・修景広場維持管理に要する経費、269ページ、これを除くところで質疑をお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、276ページ、消防費に入りたいと思います。

消防費、ではまず常備消防費、276ページから277ページまでで質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 次に、非常備消防費、276ページから281ページまで。

道法委員。

委員（道法知江君） 279ページの消防団運営に要する経費の中の修繕料なのですけれども、いいですか。

委員長（山元経穂君） はい、大丈夫です。

委員（道法知江君） 修繕料，予算だと227万円，修繕料157万4，338円だった。この修繕の場所を教えてください。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） すみません，消防団運営に関する経費で修繕料になりますけれども，これについては主に団車両の車検とポンプの修理ということになりまして，すみません，修繕のところはほとんど今の団車両の車検とポンプの修理ということで理解いただければと思います。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 屯所の修理はここではないのですか。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） すみません，次の消防施設整備に要する経費の修繕ということで。

委員長（山元経穂君） 続いてございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして，280ページ，消防施設費について質疑をお願いいたします。

道法委員。

委員（道法知江君） 失礼しました。先ほどの続きなのですが，屯所の修繕というのでどちらのところが修繕されたのか教えてください。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） すみません，消防施設整備の修繕料の場所ということでございましたけれども，これについては屯所のシャッターとかガラス等の修繕費用として47万円余りを修繕料として支出をしたというものでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） 毎回，屯所の在り方とか屯所の修繕というふうに言われると思うのですが，整備計画を考えるとということだったと思いますが，整備計画は考えられているのかどうか。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） すみません、去年の場合も、整備計画というような話がございました。去年の質問の中でも、建築基準法、旧耐震の状況があつて、その耐震化にできていないというところが6か所程度あるという形で答えさせていただいたのですけれども、現状としては新たにというところの整備を考えていくというところもございますけれども、現状としてはまだそこまで至っていないということでございまして、現状としては今の状況を見ながら、あとは地域の状況を見ながら修繕を行っているというようなところでございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 道法委員。

委員（道法知江君） これだけ想像がつかないような気候変動、7月、8月も大雨、8月に至っては20日以上雨が降り続けるというような状況だったと思います。9月においては、台風のシーズンでもある。10月の半ばぐらいまで台風の心配がある。

屯所は至るところで修繕が必要にもかかわらずというのをずっと毎年言い続けて、昨年の令和2年のときも、できれば今年度中に屯所の修繕、整備計画を考えているというふうに御答弁いただいております。このことについて教えてください。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） すみません、去年の委員会の中でも、屯所の老朽化が進んでいるということで、緊急時の対応がどうなのかというような形で御質問がございました。それも踏まえて、状況を確認しながら、実際的には望ましいのであればある程度整備をしていくということが望ましいというふうには考えていますけれども、現状においては施設の状況を見ながら緊急的に対応が必要なところについて対応しているという状況でございます。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） 総務企画部長。

総務企画部長（平田康宏君） 少し補足させていただきますが、整備計画というのは確かにまだできておりませんが、2か月に1回、消防団の役員会議というものを開いております。その中で問題を提起させていただいております。

耐震化の問題と、委員のほうがおっしゃるのは恐らく老朽化した施設を大きく言えば新築になるかもしれませんが、そういったことも踏まえての計画ということでございます。

お話にございましたように、災害がこれだけ多発いたしますと、消防団、車両を格納しております屯所が有用な、各地域で要所となって重要な役割を果たしておりますので、そういった面も含めまして長期的なスパンになりますが、さりとていつ何どき災害がまたあるか分かりませんので、それに備えた上での計画というのでそれは引き続き検討しておりますので、その点は御理解いただきたいと思います。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） よろしいですか。

その他ございませんか。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 281ページはよろしいのですか。

委員長（山元経穂君） はい、消防施設費なら。

委員（下垣内和春君） 待ちます。

委員長（山元経穂君） 続きまして、災害対策費、280ページから283ページの上段まで。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 281ページ、水防・防災対策に要する経費の予算では、国土強靱化地域計画策定業務委託料573万1,000円が計上されて新規事業としてやりますよということになっているのですが、実際に決算書には実績がないということですが、このことについてはどうなっているのか教えていただけますか。

委員長（山元経穂君） 危機管理課長。

危機管理課長（堀信正純君） すみません、これにつきましては、国土強靱化地域計画策定業務委託料として、当初予算については573万1,000円ほど予算計上をしておりました。これにつきましては、計画の策定業務を業者委託する予定としておりましたけれども、県計画や他市町の計画を参考に市独自で作成したということで、委託料としては支出していないというもので御理解いただければと思います。

委員長（山元経穂君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） これは大事な計画書だろうと思います。その中で、自前で他市町のを参考にして作成されたということは費用の削減に大変効果があるということですが、いろいろな委託業務の中で、できたら職員でできるものはやっていただくような形を今後とも努めてもらいたいと考えております。

委員長（山元経穂君） 総務企画部長。

総務企画部長（平田康宏君） 確かにおっしゃるように、各種計画、委託して作成しているものが多くございますので、御指摘いただきましたとおり、自前でできるものは自前でというのが基本でございます。そのためには、先ほど危機管理課長も申し上げましたが、県なり他市町また他機関の動向も踏まえながらよりよい計画とするのが前提となっておりますので、その点も踏まえて取り組んでまいりたいと思っております。

以上でございます。

委員長（山元経穂君） その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、教育費に入りたいと思います。

教育費、285ページの教育総務費の2番、事務局費の3、物品調達に要する経費のみ質疑がある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、293ページ、小学校費の学校管理費、5番、物品調達に要する経費の一部について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、中学校費、299ページ、学校管理費の物品調達に要する経費の一部について質疑のある方はお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、298ページの下段、幼稚園費、301ページの上段まで、質疑のある方はお願いいたします。

道法委員。

委員（道法知江君） これは確認だけなのですが、幼稚園費、多分10月から、先ほど説明があったように、3歳から5歳まで全クラス、全世帯に至って無償ということで、保育料にしたら0歳から2歳までは住民税非課税世帯、これは子ども・子育て支援制度の対象の幼稚園ということだと思います。認定こども園も無料ということだと思いますけれども、その確認だけ。それと、2人目は半額という理解でよろしいでしょうか。

委員長（山元経穂君） これは違うよね。

委員（道法知江君） 幼稚園費。

委員長（山元経穂君） これは幼稚園の跡地の管理のお金でございますので。

委員（道法知江君） 幼稚園費は関係ないですか。

委員長（山元経穂君） はい。

委員（道法知江君） 失礼しました。

委員長（山元経穂君） 続いてございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、322ページから323ページ、公債費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続きまして、322ページから325ページ、予備費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） 続いて、特別会計に入ります。

368ページから371ページまで、歳入歳出含めてまいります。

公共用地先行取得事業特別会計について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（山元経穂君） それでは、これで今日の審議を終えたいと思います。

以上で総務企画部の集中審査を終了いたします。

次回は、22日水曜日10時から市民福祉部の集中審査を行います。

以上で第2回決算特別委員会を散会いたします。

お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前11時59分 散会